

「9条改憲を先取りする大軍拡予算を許さない！ 消費税は減税を！軍事費を削って、くらし・福祉・教育・防災に」院内集会

日時

11/27 (水) 14時～16時半

場所

参議員議員会館 1階 講堂

入場は無料です。通行証は13時過ぎより配布します。



講師 半田 滋氏

(東京新聞論説兼編集委員)

■略歴 半田滋(はんだ・しげる)1955年(昭和30)年生まれ。東京新聞論説兼編集委員。獨協大学非常勤講師。法政大学兼任講師。92年より防衛庁取材を担当している。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。

■著書 「安保法制下で進む!先制攻撃できる自衛隊—新防衛大綱・中期防がもたらすもの」(あけび書房)、「『戦地』派遣 変わる自衛隊」(岩波新書)=09年度日本ジャーナリスト会議(JCJ)賞受賞、「自衛隊vs北朝鮮」(新潮新書)、「聞えない軍隊」(講談社+α新書)など。

安保法制=戦争法の具体化と安倍政権による9条改憲策動のもとで、国民の暮らしの切り捨てと一体に大軍拡が進んでいます。かつてない規模の台風や豪雨による災害が襲い、消費税の10%増税が強行されました。貧困と格差が拡大するなか、社会保障費や教育費、防災費は抑制される一方で、防衛省は来年度予算の概算要求で5兆3,223億円を求めています。「膨張する防衛予算、防衛装備について憲法9条の理念に照らして精査し、国民生活の安全という観点から他の政策の財源に振り向けること」(参議院選挙での立憲野党と市民連合の共通政策)が今こそ必要です。

臨時国会では菅原経産大臣と河井法務大臣辞任に続き、「桜を見る会」の私物化が明らかになりました。安倍政権が格差と貧困を拡大しているなか、大軍拡予算に反対の声を上げ、国民のいのちと生活を守る政治への転換を求めましょう。

■よびかけ団体■ 安保破棄中央実行委員会/憲法改悪阻止各界連絡会議/戦争する国づくりストップ!憲法を守り、いかす共同センター/

国民大運動実行委員会/消費税廃止各界連絡会/平和・民主・革新の日本をめざす全国の会(全国革新懇)/中央社会保障推進協議会/日本平和委員会

連絡先: 国民大運動実行委員会 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連内 TEL03-5842-5611 FAX03-5842-5620